

平成24年第2回定例会 ◆発言者一覧◆

1		発言順：1 菅原健（自由民主党・仙台）
2	平成24年第2回定例会（第2日目）2012.06.13	発言順：2 小野寺健（市民フォーラム仙台）
3		発言順：3 跡部薫（復興仙台）
4		発言順：1 小野寺利裕（公明党仙台市議団）
5	平成24年第2回定例会（第3日目）2012.06.14	発言順：2 高見のり子（日本共産党仙台市議団）
6		発言順：3 相沢和紀（社民党仙台市議団）
7		発言順：1 菊地崇良（自由民主党・仙台）
8	平成24年第2回定例会（第4日目）2012.06.15	発言順：2 加藤けんいち（市民フォーラム仙台）
9		発言順：3 高橋次男（復興仙台）
10		発言順：4 佐藤和子（公明党仙台市議団）
11		発言順：5 庄司あかり（日本共産党仙台市議団）
12		発言順：6 石川建治（社民党仙台市議団）
13		発言順：7 及川英樹（みんなの党・みんなの仙台）
14		平成24年第2回定例会（第5日目）2012.06.18
15	発言順：2 やしろ美香（自由民主党・仙台）	
16	発言順：3 岡本あき子（市民フォーラム仙台）	
17	発言順：4 鈴木勇治（復興仙台）	
18	発言順：5 鈴木広康（公明党仙台市議団）	
19	発言順：6 ふなやま由美（日本共産党仙台市議団）	
20	平成24年第2回定例会（第6日目）2012.06.18	発言順：1 小山勇朗（社民党仙台市議団）
21		発言順：2 早坂あつし（みんなの党・みんなの仙台）
22		発言順：3 鈴木繁雄（自由民主党・仙台）
23		発言順：4 安孫子雅浩（市民フォーラム仙台）
24		発言順：5 渡辺博（復興仙台）
25		発言順：6 小野寺淳一（みんなの党・みんなの仙台）

平成24年第2回定例会(第2日目) 2012.06.13

発言順: 1 菅原健(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
①東部地区の復興まちづくりについての市長の覚悟	0	0	0	0
②第二回の復興交付金認定結果全体に対する市長の所見	0	0	0	0
③第二回の復興交付金の使い勝手や自由度についての改善の有無	0	0	0	0
④復興交付金の三次申請と市独自の支援の必要性	0	0	0	0
⑤防災集団移転事業計画の位置づけ	0	0	0	0
⑥意向未提出者、希望変更者への対応	0	0	0	0
⑦防災集団移転事業計画の最終確定時期、跡地買い上げ、移転先確保の時期、今後のスケジュールの見通し	0	0	0	0
⑧県道かさ上げなどの措置を講じても津波被害浸水が残る区域に対するまちづくりのビジョン	0	0	0	0
⑨宅地被害の公共事業の課題と当局の認識	0	0	0	0
⑩緑ヶ丘4丁目区域の一部(防災集団移転)、折立5丁目区域(現地再建)の区別の理由と経過	0	0	0	0
⑪緑ヶ丘4丁目区域の防災集団移転の今後のスケジュールと津波被害のメニューとの異同	0	0	0	0
⑫仮設住宅の入居期間のさらなる延長を国や県に求めるべき必要性	0	0	1	1
⑬仮設住宅に入居中のひとり暮らしの高齢者、精神的に不安定な方に対する各機関の対応と役割分担	0	0	0	0
⑭仮設住宅の入居者の状況を把握するシステムの構築の進捗と活用方法	0	0	0	0
⑮仮設住宅に入居している高齢者向けの監視通報システムの機能、目的、対象者	0	0	0	0
⑯津波浸水区域の集団移転対象者で市の復興公営住宅に入居する人に対する新たな支援枠組の創設を国に求める必要性、市として実施する必要性	0	0	1	1
⑰復興公営住宅の供給目標の見通しと確実に入居させることができるかどうかとその募集方法	0	0	0	0
⑱仙台市の経済状況の見通しと当局の認識	0	0	0	0
⑲被災中小企業の経営再建のための取り組み	0	0	0	0
⑳復興特区を活用した産業集積の内容	0	0	0	0
㉑エコモデルタウンプロジェクト推進事業の具体的な取り組みと拡大の必要性	0	0	0	0
㉒被災地域農業復興総合支援事業(リース)を進める目的と圃場整備や農地の集約化と総合的に進める必要性	0	0	0	0
㉓塩釜の水族館構想についての情報と所見、松島水族館との関係、東西線沿線に誘致する必要性	0	0	0	0
㉔生活保護の不正受給の増加と厳正な対応の必要性	0	0	0	0
㉕(仮称)錦ヶ丘小学校の児童数の推移と学級規模の見込み	0	0	0	0
㉖泉岳少年自然の家のリニューアルのコンセプトと指定管理者に対する期待、利用範囲拡大による子どもたちに対する教育的機能の低下の危惧	0	0	0	0
	0	0	2	2

【コメント】

③⑦⑩⑪⑭⑮⑰などは事前に担当者に事実関係を確認してから質問すべき。仙台市が直面する課題とそれに関連する一般論(私見)を述べ、当局の認識、所見、見通しを尋ねる質問は改善する必要がある。そこで明らかにされた当局の認識、所見、見通しは本来の質問の前提に過ぎない。  
課題が実際にどのように進められているかの実態の調査を怠っていることが根本原因。調査なくして質問なし。

平成24年第2回定例会(第2日目) 2012.06.13

発言順: 2 小野寺健(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①災害対応法制の見通しについての国への要望内容、災害対策基本法の改正についての評価、今後の対応	0	0	0	0
②大都市制度よりも災害対応法制の見通しの早期実現を図ることを優先すべき必要性	0	0	1	1
③復興交付金の第二回交付でゼロ回答となった事業に関する復興庁との事前協議の感触、実施するための手法と見通し、第三次申請の時期と内容	0	0	1	1
④みなし仮設住宅の期間延長を県と連携して取り組むべき必要性	0	0	1	1
⑤みなし仮設住宅の被災者を支援する常設センターの課題と解決のための活動、今後の見通し	0	0	0	0
⑥みなし仮設住宅での孤立死を防ぐための実態調査結果と課題	0	0	0	0
⑦PRE(公的不動産)についての今後の取り組みと見通し	0	2	1	3
⑧仮庁舎に4億円もの賃料を払い続けるコスト意識と建て替えについてのスピーディな判断の必要性	1	0	1	2
⑨市民に対する部局の案内方法と税部局の引っ越し時期	0	0	1	1
⑩水族館誘致と塩釜水族館、松島水族館との関係、市民の理解、負担の軽減	0	0	1	1
⑪伊達な広域観光圏の広域連携の総括と今後の展開、大規模事業展開の必要性	1	0	0	1
⑫DCキャンペーンのセールスポイントとプレキャンペーンの総括、前回キャンペーンの反省点、予算規模、目標等	0	0	0	0
⑬仙台泉岳自然ふれあい館の名称変更の理由、利活用のノウハウの継承、指定管理者になった場合の市内小学校との連携、生涯学習施設としての方向性、ボランティアの位置づけ、市内小中学校の利用が抑制されない方策	0	0	0	0
⑭特定非営利活動促進法の改正に伴う今後の展開と広報活動の経緯	0	0	0	0
⑮(仮称)錦ヶ丘小学校の新設に関する問題点・課題と、将来在校生児童が少なくなった時の対応	0	0	0	0
⑯小中学校適正規模に関する実施検討と教育局の見解、課題に対する認識変化の有無、被災した小中学校の除外	0	0	0	0
⑰学校給食の来春の値上げを再検討する必要性、宮城地区と秋保地区の給食費の統一	0	0	0	0
⑱登下校時の児童生徒の安全確保と対策	0	0	2	2
⑲生活保護者の不正受給	0	0	0	0
	2	2	9	13

【コメント】

課題や見通しについての当局の認識、見解を明らかにさせたところで終了する質問形式は検討を要する。何が課題になっているのか、今後どうするつもりかを先に知ることは質問の前提であるはず。

③⑤⑥⑫⑮⑱⇒担当者に事前に確認すれば足りる質問が含まれている。

⑩⇒会派の提言がその後どのように政策に反映されたか、引き続きチェックする必要あり。

平成24年第2回定例会(第2日目) 2012.06.13

発言順: 3 跡部 薫 (復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
①第二十二回仙台国際ハーフマラソン大会についての当局の見解	0	0	0	0
②1年間の市政運営についての所信と本格復興への展望	0	0	0	0
③復興交付金の内示と復興事業の見通し(進捗に懸念出ているものがあるか)と市独自の支援事業の財源確保への取り組み	0	0	0	0
④行財政改革の新たな取り組みの検討状況	0	0	0	0
⑤税務事務の本庁への集約化(徴収率, 人員不足, 共通認識, 財政負担軽減手法)	0	0	1	1
⑥大都市制度(地方分権へのスタンス, 特別自治市のビジョン, メリット・デメリット, 県との調整)	0	0	0	0
⑦地方分権を実体化する財源の確保のビジョン	0	0	0	0
⑧災害対応と自助力向上策, 地域防災を担う人材の育成	0	1	0	1
⑨地域包括支援センターの役割と要援護者支援	0	0	1	1
⑩エコモデルタウンプロジェクトと地元企業の参画, 全庁的取り組みの必要性	0	0	0	0
⑪被災した中小企業支援策の現状(センターの相談件数, 買い取り件数, 現状に対する認識)	0	0	0	0
⑫中小企業の販路開拓(東北復興ビジネスマッチングセンターの活動, 内需拡大の方策)	0	0	0	0
⑬雇用の安定と復興需要に頼らない地域経済の形成の必要性	0	0	0	0
⑭食と農のフロンティア特区のねらいとなりわい再建との関連	0	0	0	0
⑮農業の六次産業化のねらいと新たな産業としての期待	0	0	0	0
⑯県内自治体の震災瓦れき受け入れの経過と衛生面での対応	0	0	0	0
⑰震災瓦れきを有効活用した事業についての検討状況と今後の取り組み	0	0	0	0
	0	1	2	3

【コメント】

仙台市の直面する課題について一般的なコメントを加え、当局の所見、今後の取り組みを尋ねる質問の典型。  
 ⑧⑨などは、震災の教訓が仙台市が現在の取り組みに反映されているかどうか調査し、自助力の向上策の何がどのように不足しているのか、人材育成はどのように行うべきなのか、地域包括支援センターの役割をどのように変えるべきなのか、調査に基づいた結果と具体的改善案を提示し、質問する必要がある。

平成24年第2回定例会(第3日目) 2012. 06. 14

発言順：1 小野寺利裕(公明党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
①復旧・復興の取り組みについての市長の総括	0	0	0	0
②仙台市実施計画の9事業と県・国の事業との総括的管理の必要性	0	0	1	1
③県道塩釜亘理線のかさ上げ事業の計画的達成の見通し	0	0	0	0
④復興事業の財源確保の見通し	0	0	0	0
⑤復興事業の入札不調問題と改善の現状、復興事業への影響	0	0	0	0
⑥復興財源の不足や入札不調等による工程表の遅れと実施計画の見直し	0	0	0	0
⑦復興事業にあたり被災された方への丁寧な対応の必要性	0	0	0	0
⑧津波避難施設整備事業と避難対象者の想定	0	0	0	0
⑨津波避難施設と県道塩釜亘理線の関連	0	0	1	1
⑩東部沿岸地域の地権者への丁寧な説明と情報提供の必要性	1	0	1	2
⑪本市の経済状況に対する当局の認識	0	0	0	0
⑫中小企業からの相談への対応、再生支援機構の支援決定件数が少ない理由、支援事業の周知とサポートの必要性	0	0	0	0
⑬雇用対策(安定した雇用が生まれない理由と新たな雇用創出策)	0	0	1	1
⑭若者の雇用の厳しい現状の要因と雇用対策の取り組み	0	0	0	0
⑮仙台市地域連携フェロー制度(8年間の総括と制度活用の方策)	0	0	0	0
⑯仙台経済ステップアッププラン2012の今後の事業展開の概略	0	0	0	0
⑰東北復興ビジネスマッチングセンターと他の事業との異同、今後の取り組み	0	0	0	0
⑱小規模多機能型居宅介護事業所が増えない理由と今後の事業展開	0	0	0	0
⑲再生エネルギーの先端技術を駆使したエコモデルタウンを目指す必要性	0	0	0	0
	1	0	4	5

【コメント】

③④⑤⑥⑧⑫⑱は事前に担当者にデータを確認すべき。多くのテーマを薄く広く取り上げ、当局の認識、今後の取り組みを尋ねる質問方法を改善する必要がある。テーマを絞り、担当者からの事前の聞き取り、関連資料の分析、現場調査を行い、専門家のアドバイスを受け、当局と情報量をオープンにし、今後どうすべきかについて具体的な意見を持ってから質問すべき。

平成24年第2回定例会(第3日目) 2012. 06. 14

発言順：2 高見のり子(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①二次補正で市独自の復興3事業を国が不採択としたことは国の約束違反であるので国に実行を迫るべき	0	0	0	0
②「ともに前へ」のスローガンは誰と進むのか、一人一人の被災者を忘れるべきではない	0	0	0	0
③東日本大震災農業生産対策交付金事業の上乗せ補助を続ける必要性	0	0	1	1
④エコモデルタウンプロジェクト推進事業のプログラム開発経費の問題点	0	0	1	1
⑤生活再建支援金の対象を半壊まで拡大し、500万円に拡充することを国に求めるべき	0	0	1	1
⑥一部損壊の住宅修理の支援(20万円以上かかった場合、一律10万円)を市独自に行うべき	0	1	1	2
⑦国の制度や仙台市独自の支援でも救済されない宅地被害を救済する必要性	0	0	1	1
⑧1981年以降の建物も耐震診断を受けられるようにするべき	0	0	1	1
⑨住宅応急修理制度の受け付け再開を国に認めさせるべき。緊急工事をした人に対する制度の遡及適用。	1	0	1	2
⑩被災者の医療費一部負担金免除の再延長を国に求めるべき	1	0	1	2
⑪国保保険料、介護保険料等の延長を国に求めるべき	0	0	1	1
⑫看護師、保健師の正規職員を増員する必要性	0	0	1	1
⑬プレハブ仮設への入居条件の緩和(仮設から仮設への転居を可能に)	0	0	1	1
⑭復興住宅の家賃に国の特別家賃低減事業を適用させる必要性	1	0	1	2
⑮国に対し生活保護制度の改悪をやめるように求めるべき	1	0	1	2
⑯津波で建物がすべて流された人、公費解体した人にも建物移転料を補助すべき	1	0	1	2
⑰移転対象地区以外の被災者に防災集団移転と同様の支援を行うべき	1	0	1	2
⑱移転対象地区以外の被災者に対する市独自の支援(盛り土、基礎のかさあげの助成)の基準の拡大の必要性	0	0	1	1
⑲現地再建者への支援の必要性(避難施設、津波情報伝達システム、避難ビル等)	1	0	1	2
⑳荒浜地区の人々が現地に住めるようアイデアを提案した場合にそれを検討する必要性	0	0	1	1
21) 敬老乗車証制度の負担の引き上げと利用制限を撤回する必要性	1	0	1	2
22) 霞の目営業所の外部委託とバスの安全	0	0	1	1
23) バスの事業量(市民の足)を確保する必要性	0	0	1	1
24) 窓口の充実、災害対策の両面で税務事務の集約化を中止すべき	0	0	1	1
25) 消費増税に被災地の自治体の長として反対するべき	0	0	0	0
26) 大飯原発の再稼働を強行する政府を批判し、女川原発再稼働反対の態度を明確にすべき	0	0	1	1
	8	1	23	32

【コメント】

①⑤⑨⑩⑪⑮(25)(26)⇒「国に求めるべき」「国の政策に反対するべき」との質問の実効性を検証すべき  
 ③⑥⑦⑧⑫⑬⑭⑰⑱(21)(22)(24)⇒「減らすな」「増やせ」との質問(要求)にあたり財源の問題を考慮する必要がないかどうか検討すべき。

平成24年第2回定例会(第3日目) 2012.06.14

発言順: 3 相沢和紀(社民党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①復興関連の主な工事の進捗状況と復旧・復興全体の進捗状況についての市長の認識	0	0	0	0
②復興計画概算事業費1兆500億円に変更が生じているかどうか。うち予算措置が行われた分と今後予算確保が必要な分の区別、予算確保の見通し、不足分が生じた場合の対応	0	0	0	0
③圃場整備事業エリア内の事業用地の取得方法	0	0	0	0
④各集落が整備事業区域から除外された場合の問題点(道路幅員の違い、高低差等)	1	0	1	2
⑤圃場整備事業と市道の扱い	0	0	0	0
⑥圃場整備事業で整備された道路網の管理体制と各集落をつなぐ生活道路の扱い(市道として舗装整備するのかどうか)	0	0	0	0
⑦避難道路の整備計画を早急に示す必要性	1	0	1	2
⑧農業機器の購入と税金の無駄遣いの防止	1	0	1	2
⑨霞の目営業所のバス運転業務の委託と東西線開業に伴う路線の見直しとの関係、台数の減少と契約変更の可能性	0	0	0	0
⑩超過勤務の実態調査と是正の有無、受託会社の職員採用の見込み	0	0	0	0
⑪バス運転手の正職員の採用の必要性	1	0	1	2
⑫仙台市泉岳自然ふれあい館の設置目的と運営上の問題点と対策	0	0	0	0
⑬同館の利用料金の設定の理由と安易な値上げの防止	0	0	1	1
⑭同館におけるアレルギー食物に対する取り組みと拡充、そのための人材の確保	0	0	1	1
⑮錦ヶ丘団地の学校建設用地買収経過の総括	0	0	0	0
⑯錦ヶ丘地区の生徒数の増加と分離新設の時期	1	0	1	2
⑰錦ヶ丘地区における中学校の分離新設に対する認識	1	0	1	2
	6	0	8	14

【コメント】

①②③⑤⑥⑨⑩⑫⇒担当者に事前に確認してから質問すべき。

平成24年第2回定例会(第4日目) 2012.06.15

発言順: 1 菊地崇良(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
①市独自の被災者生活再建の支援方法の問題点(自助努力で移転した場合も補助対象にすべき)	1	0	1	2
②被災者生活再建のためのさらなる支援方策を検討し、国に要請を続ける必要性	1	0	1	2
③防災集団移転促進事業の対象者に懇切に対応する必要性	0	0	0	0
④長町利府断層以東の移転先の軟弱地盤対策への不安	0	0	0	0
⑤旧宅地の鑑定評価の上昇と移転先決定に際しての柔軟な対応の必要性	0	0	1	1
⑥新街区形成に伴う道路整備の必要性	0	0	0	0
⑦環状交通体系の構成に取り組む必要性	0	0	0	0
⑧仙台市東部地区圃場整備の問題点(拙速、個々の対策への不安、客土の量、土質、合意形成)	1	0	1	2
⑨瓦れき焼却場に発電設備設置の必要性	0	0	1	1
⑩経済産業振興(労務単価・入札状況の改善の効果、特区の活用、建築業の人材育成)	0	0	0	0
⑪スポーツ振興(次期スポーツ基本計画の趣旨等、被災校の校庭の寄与)	0	0	1	1
⑫土曜日の授業実施に取り組む必要性	0	1	1	2
⑬議会、議員に対する情報提供の必要性	0	0	0	0
	3	1	7	11

【コメント】

④⑥⇒担当者から事前にレクチャーを受けるべき。  
 ③④⑤⑥⑧⇒現場調査が不可欠。現場に足を運び、現場担当者、被災者からの声を直接聞き、④などは専門家のアドバイスも受け、何をどうするべきかの案を携えて質問するべき。テーマの「深掘り」が必要。  
 ⑬⇒論外。政務調査費は何のためにあるのか。

平成24年第2回定例会(第4日目) 2012.06.15

発言順: 2 加藤けんいち(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①通学路の安全対策強化(危険箇所の集約, ソフト・ハード両面からの安全対策)	1	0	1	2
②震災を踏まえたLNG調達(スポット調達の基本契約とその変更, 今後の課題)	0	0	0	0
③バスの利便性向上(英語版パンフレット, 英語版案内表示の充実)	1	0	1	2
④地下鉄広告(指定代理店に頼らない取り組み, 代理店とのインセンティブの改定, 広告料金の改定)	1	0	1	2
⑤防災教育の充実(市長の意気込み, 地域活動・ボランティア活動の位置づけ, 職場体験活動)	0	1	1	2
⑥学区民運動会への防災訓練種目の導入	0	0	1	1
⑦仙台市立高等学校への防災専門学科の設置	0	1	1	2
	3	2	6	11

【コメント】

②⇒契約内容, 指摘している課題への取り組み状況は事前に担当者にあたって調べてから質問するべき。  
③④⇒他都市との比較が不可欠。

平成24年第2回定例会(第4日目) 2012.06.15

発言順: 3 高橋次男(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①成人式の問題(バリケードの封鎖, 会場正面の南入り口広場の開放, 仙台フィルの生演奏)	1	0	1	2
②文化財兜塚古墳(文化財として開放, 沼倉吉兵衛の胸像)	1	0	1	2
③伊達家無尽灯籠(倒れた石灯籠の早期復旧)	1	0	1	2
④生出診療所(照明, 医療機器の更新, バリアフリー)	1	0	1	2
⑤生出村の合併協定の精神	0	0	0	0
	4	0	4	8

【コメント】

地域医療は重要な問題であり, さらに調査し, また他地域にも調査を拡大されたい

平成24年第2回定例会(第4日目) 2012.06.15

発言順: 4 佐藤和子(公明党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①仮設住宅安心見守り協働事業等の各区の間の濃淡, 差異と足並みをそろえる必要性	0	0	0	0
②仮設住宅安心見守り協働事業の長期的・継続的支援の必要性	1	0	1	2
③仮設住宅安心見守り協働事業のさらなる支援拡充(相談解決の手順, 四六時中の見守り)	0	2	1	3
④緑ヶ丘四丁目地区の宅地支援(丁寧な個別対応, スピード感)	1	0	0	1
⑤県道六十二号の歩道整備と事故防止	0	0	1	1
	2	2	3	7

【コメント】

①⇒各区の間の濃淡, 差異とは何か明らかにされる必要がある。  
②③⇒ここまで調査をしているのであれば, 仙台市の事業の不足部分の具体的指摘, それについての具体的改善案を出すことが可能ではないか。

平成24年第2回定例会(第4日目) 2012.06.15

発言順: 5 庄司あかり(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①被災地の青年の雇用状況の厳しさに対する市長の認識	1	0	0	1
②建設機械の免許取得希望者に対する助成の必要性	0	0	1	1
③就職活動中の青年へのパソコン購入の補助の必要性	1	0	1	2
④(心の相談コーナーやジョブカフェなどの)相談場所の周知の必要性	1	0	1	2
⑤青年の雇用をつくるための国・県・市の連携の必要性	0	0	0	0
⑥被災中小業者の店舗などの修繕費に対する一律50万円の助成の必要性	0	1	1	2
⑦国の事業復興型雇用創出助成金事業の対象の拡大と遡及を認めるように国と県に求めるべき	1	0	1	2
⑧正規雇用一人当たり月10万円の助成を3年間行う市独自の支援の必要性	0	0	0	0
⑨労働派遣法の改悪が被災地の青年へ与える影響	0	0	0	0
⑩長時間過密労働を是正するために非正規雇用から正規雇用への転換等が必要であること	0	0	0	0
⑪必要な正規職員を計画的に採用すべき	0	0	1	1
⑫業務委託入札で時給1000円以上の業者を優先すべき	1	1	1	3
⑬給付制奨学金制度を作ることを国に求めるべき	0	0	0	0
⑭市独自の給付制奨学金制度をつくるべき	0	0	0	0
⑮若者の定住を支援するための家賃補助制度をつくるべき	0	1	0	1
	<b>5</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>15</b>

【コメント】

- ②③⑥⑧⑪⑭⑮⇒財源の裏付け(それに見合う無駄な支出の指摘)を考慮しなくてよいかどうか検討するべき。  
 ⑦⑨⑬⇒国レベルの課題につき、当局への質問で何を獲得できるのかその実効性を検証する必要がある。  
 ⑪⇒非正規職員の雇用の恒常化についてはプラスマイナスの双方の面に総合的調査が必要。  
 ①⑨⑩⇒質問の獲得目標を再検討するべき。

平成24年第2回定例会(第4日目) 2012.06.15

発言順: 6 石川建治(社民党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①空き家問題(全国的状況と将来予測に対する所見。空き家対策の拡充, 強化の必要性。空き家の状況の変化と実態の把握の有無。本市の空き家対策とその効果。対策に積極的に取り組む必要性和空き家等の適正管理に関する条例の制定の必要性)	2	2	3	7
②住宅政策(新たな住まいの基本計画の内容, 空き家の積極的活用策, 中古住宅活用の促進策, リフォーム費用の無利子融資制度等の支援策)	1	0	2	3
	3	2	5	10

【コメント】

①⇒焦点を空き家問題に絞って, 総合的に研究・調査し, 改善策を伴った優れた質問。

平成24年第2回定例会(第4日目) 2012.06.15

発言順: 7 及川英樹(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①感染症対策(各保健所のH I V検査の時間帯を受けやすい時間帯にする必要性, ターゲットを絞り込んだ認知度向上策, B型肝炎検査とH I V検査の同時実施, 時代に即した性教育, 性感染症対策)	1	0	1	2
②脱法ハーブ(市としての認識, 宮城県薬務課監視麻薬班との連携, 現在把握している業者数, 学校や市民への啓発)	1	0	0	1
③救急救命(利用者のモラルの低下, 携帯で迷惑電話を頻繁にかける利用者の位置等情報把握, 救急救命に関する講習の実施状況)	0	0	0	0
	2	0	1	3

【コメント】

②③⇒担当者と市としての取り組みを聞き, 現場調査を行い, 問題点を整理し, 具体的改善策を用意して質問すべき。

平成24年第2回定例会(第5日目) 2012.06.18

発言順: 1 大泉鉄之助(自由民主党)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①伊藤副市長への質問(本市の経済状況に対する認識, 今後の見通し, 地元経済の足腰を鍛えるための処方箋, 市長選への決意)	0	0	0	0
②組織のあり方を多忙と暇という視点及び仕事の質・量という視点で再検討する必要性(部署の分割と人員配置)	0	0	0	0
	0	0	0	0

**【コメント】**

- ①⇒地元経済の足腰を鍛えるための(市において実行可能な)自らの処方箋を打ち出す必要がある。それを欠いた質問はインパクトに欠ける。  
②⇒具体策が伴っていない。

平成24年第2回定例会(第5日目) 2012.06.18

発言順: 2 やしろ美香(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①児童虐待(仙台市の(認知された)児童虐待の現状、(未認知の)児童虐待の早期発見に対する取り組みの現状、児童虐待の発生及び深刻化の防止とさらなる効果的な取り組み)	0	0	0	0
②ごみ有料化(ごみが増加傾向にある現状の分析、分別による種類毎の増減に対する分析と取り組み、処理費用の推移、ワケル君の再登場)	0	0	0	0
③行政サービスの拡充(戸籍住民課業務のうち、土日も行っているサービス、コンビニによる証明書の交付の特色、転居に伴う住民異動届の土日の対応)	0	0	1	1
④IT特区(発注者の立場からIT特区を生かし、市の収入もふやす方策、申請する可能性のある企業数、経済効果、企業と仙台市の行政システムとの連携の可能性)	0	0	0	0
⑤学校教育と食育(八軒中学校と汐路中学校との交流の内容と今後の計画、好きなメニューが選べる温かいランチの可能性、食育についての考えと取り組み)	0	0	1	1
⑥国会議員の無料乗車証の廃止	0	0	0	0
	0	0	2	2

【コメント】

①②⇒一般的なデータを提示し、現状を尋ねる質問は改善する必要がある。現状を自分で調べ、問題点を把握し、改善案を持った上で質問すべき。現状と取り組みの確認は質問の前提であり、質問そのものではない。

平成24年第2回定例会(第5日目) 2012.06.18

発言順: 3 岡本あき子(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①総合防災訓練(市長の求める災害に備えるという認識と市民協働による減災へという考え, 非常用持ち出し袋の備え, 自家発電装置を利用した訓練の必要性, 今後の取り組み)	1	0	1	2
②災害時の政令指定都市への法権限の移譲と法改正への市長の決意	0	0	0	0
③仙台市の放射能問題への対応(放射能測定に対する考え方と今後の方針, 測定結果の広報手段, 空間線量を測定している機器の数, 測定箇所, 最も高い数値の箇所と数値, プールの測定と数値の周知, 対象の拡大, サンプリング測定とその後の推移と現在の状況, 安全性の判断, 保育所の負担の軽減, 私立保育所の参加の促進, 個人や食材の生産者に対する測定支援, 今後の測定強化の具体的取り組み)	1	0	1	2
④宮城県の中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の活用効果, 継続の働きかけの必要性	0	0	0	0
⑤緑ヶ丘地区の宅地被害への対応(鹿野の復興公営住宅への優先入居の必要性, 沿岸部で実施している戸建ての復興公営住宅等の支援を緑ヶ丘地区にも適用させるべき。移転先の候補地の確保と見通し)	1	0	1	2
⑥復興公営住宅(入居希望者の受けとめと整備目標数への反映, 近隣に整備する必要性, あふれる希望者への対応, あすと長町地区に整備する必要性, コミュニティー重視と複数世帯の申込みの誘導)	1	0	1	2
⑦あすと長町仮設住宅の現状と住民の安全と安心の確保とそれに対する支援)	1	0	1	2
	<b>5</b>	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>10</b>

**【コメント】**

②④を除き, 現状をよく調査し, 問題等を整理して質問している。

平成24年第2回定例会(第5日目) 2012.06.18

発言順: 4 鈴木勇治(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①持ち込み食材の放射性物質検査実施の必要性。	0	0	1	1
②荒川で河川環境・生物研修を行っていることを教育局が把握しているか否か。 旧荒川から放射性物質が検出されたことに対する対応と検査の必要性。 子供の学習の場、遊び場での室内放射線量の測定と情報提供の必要	0	0	1	1
③災害時における市医師会との情報連絡体制の強化の必要性。	0	0	1	1
④本市バス事業の課題 活性化の方策、取り組まれている対策。 休憩時間が30分を切ってしまうことがあるかどうか。 現状に合った交通事情に基づき(通勤時間も計算に入れ十分な睡眠時間が確保される形で)ダイヤが作成されるべき。 乗務員の身体的、精神的負担軽減等のためにも乗務員の新規採用を行うべき。 現場乗務員との情報交換の重要性。 研修方法の改善。 業務委託先乗務員の労働条件改善の必要性。 経営改善(モニター制度の積極的活用。職員のモチベーションの向上。現場と局内のコミュニケーションの確立)。	2	0	2	4
	2	0	5	7

【コメント】

④⇒優れた質問。このように一つのテーマを深く、しかも多角的に調査し取り上げることは議会の活性化に不可欠。

平成24年第2回定例会(第5日目) 2012.06.18

発言順: 5 鈴木広康(公明党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①登下校中の児童の交通事故(文科省からの通知に基づく緊急合同点検の実施体制。信号機の整備。交差点の歩車分離化, 路面へのカラー標示。地域の方々へのアンケート。ソフト面, ハード面の対策の必要性)。	2	0	2	4
②不登校児童生徒の問題(児童の杜等の学校復帰支援組織に行けずに不登校になっている児童生徒への対応。フリースクールとフリースペースの違い。フリースクールなどの民間施設についてのガイドラインの見直し。学校, 保護者, 教育委員会, 民間フリースクール間の情報共有と一人一人のカルテの必要性)。	2	0	2	4
③大規模災害時に備えた対策(6月12日の総合防災訓練の成果と今後の対応。災害時における情報収集と消防バイクの導入の必要性)。	1	1	1	3
	5	1	5	11

【コメント】

①②⇒一つの問題を深く, かつ多角的にとらえた優れた質問。

平成24年第2回定例会(第5日目) 2012.06.18

発言順: 6 ふなやま由美(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①震災関連死の判定(基準の見直し。死亡者の状況の把握。制度の周知と内容の説明)。	1	0	1	2
②災害時に命を大切にす施設の充実(食料備蓄、薬剤や医療器材、自家発電、燃料の供給ルート等の整備。医療ケアを必要とする方々への支援策。公的病院を廃止や集約化しないように国に働きかけるべき。介護や障害者の在宅支援事業所への燃料の供給、障害者への支援を市の責任で行うべき。福祉避難所が災害時に役割を果たせるサポート体制の整備。日頃から支援の網の目を強化しておく必要性。木造住宅耐震改修支援制度の限度額の引き上げ。障害者や高齢者の安全対策にかかる費用の助成)。	2	0	2	4
③障害者自立支援法を廃止し、障害者総合福祉法の制定を求めべき。	0	0	0	0
④仮設住宅への健康と見守り支援(専門的立場でのカウンセリング、生活再建に結びつくための総合的支援の必要性。保健師の増員。孤独死を作らない対策の必要性。安否を確認できる生活支援機器を在宅被災者や復興公営住宅でも導入すべき。訪問による声かけ。地域コミュニケーションの復活の重要性。ふれあいバス事業の継続の必要性)。	2	0	2	4
	5	0	5	10

【コメント】

②④⇒重要課題が沢山含まれている。何が何故不備だったのか、その原因を検証し、次の災害に備えた具体的提言をまとめておくことは他地域の防災にとっても有効。一つ一つの課題を更に深く調査すべき。

平成24年第2回定例会(第6日目) 2012.06.19

発言順: 1 小山勇朗(社民党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①個人に対する二重ローン支援対策(差し引きマイナスになるケースへの支援。相談会の開催。関係機関との協議)	1	0	1	2
②私立保育事業の運営管理及び経済性、効率性、有効性の観点について実施された平成23年度包括外部監査報告書について(増員保育士助成の申請書類のチェック。開所時間延長促進事業助成。補助事業により取得した財産管理)	1	0	1	2
③男女共同参画推進(女性委員の登用率、人事委員ゼロ)	1	0	1	2
④ふれあいバス事業(廃止の経緯と理由。継続の必要性)	1	0	1	2
	4	0	4	8

【コメント】

②⇒包括外部監査の実施を監視する仕組みを議会に作るべき。

平成24年第2回定例会(第6日目) 2012.06.19

発言順: 2 早坂あつし(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①少子高齢化の問題(少子化への取り組み。不妊治療支援の助成制度の上限改正。助成件数増の対応。児童虐待への対応強化)	1	0	1	2
②東京電力福島第一原発事故による放射能内部被曝に対する検査と未然に防ぐ食品検査	0	1	1	2
	1	1	2	4

【コメント】

①②⇒データと一般的知見を述べて、仙台市に対策を尋ねるのではなく、仙台市の対策の現場を足で歩いて調べて、その内容について質問すべき。現地調査不足のため質問が上滑りになっている。

平成24年第2回定例会(第6日目) 2012.06.19

発言順: 3 鈴木繁雄(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
①旧武道館跡地の売却価格について(旧ホテル仙台プラザと旧武道館跡地の路線価が同額。周辺取引事例の価格を参考にした形跡が見当たらない。12月7日の公有財産価格審議会の審議内容と提供された取引情報。同審議会の機能と役割, 責任, 使命。同審議会の答申を受けた仙台市内部の議論。価格提示後のNHKとの価格交渉。NHKに対する文化施設機能の充実要求の有無)	2	0	3	5
②東北大学農学部に移転後の跡地利用(中国領事館の設置容認及びその候補地としてうわさされていることとの関係)	0	0	0	0
③職員の先進地視察, 海外研修の必要性。	1	0	0	1
	3	0	3	6

【コメント】

①⇒具体的事例を調査し, 公有財産価格審議会の機能にも踏み込んだ優れた質問。

平成24年第2回定例会(第6日目) 2012.06.19

発言順: 4 安孫子雅浩(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①第23回仙台国際ハーフマラソン大会(市長の評価と総括。市長部局から独立された大会実行組織の立ち上げの必要性。スポーツ元気プランの推進との関係)	1	0	1	2
②歩く、走ることの身体的、精神的効用について(杜の都ハーフマラソン大会によるその周知。公園や遊歩道の整備。杜の都ハーフマラソン大会の経済波及効果とそれに対する取り組み。杜の都ハーフマラソン大会の意義についての伊藤副市長の所見)	1	0	0	1
③児童生徒数の減少と学級規模適正化(それについての所見。作業と手続きの迅速性。市長の掲げる対話、納得、実行との関係)	0	0	0	0
④少子化、高齢化が加速する地域において市民センターの役割と位置づけ(地域組織と市民センターとの活動の統一。以前の質問後の当局の検討経過。防犯、防災機能組織の機動力の確保。学校区の地域単位のとらえ直し)	0	0	1	1
⑤仙台市都市圏広域行政推進協議会について(十カ年計画の趣旨と目的。同協議会による復旧、復興事業の推進計画。一対一の協議会による復旧、復興事業の推進計画)	0	0	0	0
⑥泉岳少年自然の家が果たしてきた教育効果と学習技術の継承	0	0	0	0
	2	0	2	4

【コメント】

③④⑤⇒現在何が問題になっているのかを現場を足で歩き、調査して質問する必要がある。一般的な課題を投げかけ、抽象的答弁を得るといったやりとりは改善する必要がある。

平成24年第2回定例会(第6日目) 2012.06.19

発言順: 5 渡辺博(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①自殺予防対策(国の動向の把握。仙台市の現状認識と対策。絆センターの役割と期待される成果。ゲートキーパーの養成、役割についての認識。ゲートキーパーの現状と取り組み。学校教育における命の大切さ。動物介在教育の重要性。本市の動物愛護行政とその取り組み。一部飼い主のマナー、動物取り扱い業者の問題。条例制定の必要性。市民、関係団体、行政の役割の明確化)	0	1	1	2
②仙台市のエネルギー対策(エネルギー事情の変化による本市プランへの影響。今夏の電力供給の見通しと仙台市の取り組み。節電の数値目標を昨年と同様にすべき。持続可能な都市経営と本市エネルギー政策との関係)	0	0	1	1
③道路の安全確保(安全確保についての認識。大震災までの橋梁、道路のり面、道路地下空洞化に対する取り組み。大震災に対する効果と評価。地震発生後の路面空洞化に対する対応。周知の必要性)	1	0	0	1
④地域と行政の関係(町内会の現状と役割。町内会が抱える課題。町内会の高齢化。後継者不足に対する根本的対策の必要性)	0	0	0	0
⑤NPO団体(それについての評価、意義、問題点についての仙台市の認識)	0	0	0	0
⑥教育局の学校支援地域本部について(事業の意義、期待、注意する点。主体は地域なのか学校なのか。支援本部の概要の記載、執行体制、地域性、熟度の考慮等。)	0	0	0	0
⑦二市二町合併の総括と今後の取り組み(宮城野区文化センターのオープン。合併の総括。整備の遅れ。構想と現実のアンバランス。宮城総合支所周辺の中核機能等)	0	0	0	0
	1	1	2	4

【コメント】

②④⑤⑥⇒現場で何が問題になっているのか自分で調べる必要がある。課題を当局から教えてもらうような質問は改める必要がある。

平成24年第2回定例会(第6日目) 2012.06.19

発言順: 6 小野寺淳一(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①仮設住宅について(より早く入居ができなかったのか。風呂の追い炊きができない。地域に合致した仕様の必要性を県と一緒に国に提案すべき。建物の遮熱に効果のある塗料を用いた暑さ、熱中症対策)	1	0	2	3
②東部地区の津波対策(津波避難施設。フロート付津波避難タワー)	1	0	1	2
③飲酒運転についての当市の取り締まり(検問を増やすことを県警に要望。飲酒運転撲滅宣言の街としての全国発信)	0	0	1	1
	2	0	4	6

#### 【コメント】

- ①⇒地域に合致しない仮設がなぜ作られたのか、背景をもっと深く調査し、供給システムにメスを入れるべき。  
②⇒アイデアを提示するだけでなく、専門家の意見を参考に仙台市の現在の取り組みの問題点を具体的に突くべき。